

環境にやさしい工夫：地域調達材料の使用(1)



建物はできる限り地元材料を使用しました。

輸入品はできるだけ使わず、日本国内でもできる限り輸送距離の短い場所からの材料で調達するよう心がけました。

それは輸送のための自動車から発生する二酸化炭素を減らすと共に、地元の歴史・文化・経済を尊重しようとしています。

わあ。大きな柱だね！

2階いやしの湯 受付ホールに地元の百年杉の柱が立っているのには気が付いてくれたかな。

久しぶりにあえたのう。

中材の百年杉

もどる

つぎへ

環境にやさしい工夫：自然材料



豊富な自然の中にたまたむ建物として、内部の建築材料はできるだけ自然材料を使用しました。

自然材料は、部屋の湿度を調整したり脱臭したりする機能があるので、中にいる人の健康によいばかりでなく、人の五感にやさしくはたらく、いやしの効果があります。

ただし、建物自身は木ではなくて、コンクリートなんだから、これはなぜかというところ、台風や地震に強いからなんだよ。

このあたりは台風が多いからのお

いいいしの効果といえは、なごみの雨の床下には、虫が繁きつめられているよ。マイナスイオンの働きで、虫退が改良されるので健康によいんですって！

もどる

環境にやさしい工夫：地域調達材料の使用(2)



いろいろな地元の材料があるんだね。

この他にも杉材の床や階段材の家具など、いろいろなところで地元の材料に出会えます。

もどる

つぎへ

環境にやさしい工夫：省エネルギーエレベーター

エレベーターは効率のよいモーターを使っているほか、動きに合わせて電気を使うコントロールをしているので、省エネルギーとなっています。

また、専用の機械室が不要であることも、このタイプのエレベーターの特長のひとつです。

30分間使わないと中の照明が消えるようになってるよ

もどる

環境にやさしい工夫：リサイクル材



建築内部の材料選定にあたっては、できるだけ材料自体が環境にやさしいものを選びました。自然材料や地元の材料のほかにはリサイクル材も使っています。

リサイクル材は、もともとの材料や製品を廃棄処分するかわりにそれを原料とし、新しい材料として再生するものです。

リサイクルによってゴミや廃棄物を減らすことができます。

これはペットボトルを再生したもののじゃな。

これ、もともとタイヤだったんだって！

もどる

環境にやさしい工夫：雨水利用



屋根に受けた雨水を地下のタンクに集め、庭の植物への水やり、トイレの洗浄に使用します。いったん雨水を貯めるので、一度にたくさんの雨が降っても、洪水のようにそのまま敷地の外に流れ出すことがありません。

また、貴重な資源としての水を保全し、有効利用することになります。もちろん水道代も安くなります。

配管の色が飲み水系統とちがうことで区別できるといいよ。濃い青色の系統が雨水だよ。

雨は建物の地下ピット空間を利用して貯められているんだよ。貯められた雨水は飲み水と別の系統のポンプでくみ上げて使うんだ。

もどる